

令和 07 年度				町道芦沢西線緊急自然災害防止対策工事		設計書		調 査			
								設 計			
工 事 番 号						施 工 地					
R7阿建緊災道第1-006号						東蒲原郡阿賀町西地内					
		実 施 ・ 元				変 更					
設 計 額		円				円					
契 約 額		円				円					
(内消費税額)		(円)				(円)					
工事・履行日数		工事日数 00115 日間				日間(付与日数 日間)					
		又は 完成期限 年 月 日				完成期限 年 月 日					
実 施		施工延長L=190m				変 更					
(元)		・ AS舗装工 A=700㎡				設計概要					
設計概要		・ 仮設工（交通誘導員）1式									

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJAxxxxxxxx※	TYxxxxxxxx※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900※	S0901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機－〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。

同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表 1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表 5 の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表 5 の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表 5 の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計、予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

#

不陸整正			一式			
不陸整正			m2		700	
アスファルト舗装工			式			
表層(車・路)			一式			
表層(車道・路肩部)			m2		700	
区画線工			式			
区画線工			式			
区画線			一式			
区画線設置(停止線)			m		6	
区画線設置(止まれ)			m		37	
仮設工			式			
交通管理工			式			
交通誘導警備員			一式			
交通誘導警備員B			人日		24	
直接工事費						
共通仮設費(率分)						
共通仮設費計						
純工事費						

現場管理費（率分）						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者（町）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
1 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事 （ なし ） ・ 工 事 名 ： ・ 予 定 期 間 ：
	2. 施工時期、時間、方法の制限 （ なし ） ・ 時 期 ： ・ 時 間 ： ・ 方 法 ：
	3. 関係機関協議による工程条件 （ なし ） ・ 協 議 内 容 ： ・ 完了予定時期：
	4. そ の 他
②用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分 （ なし ） ・ 処 理 見 込 時 期 ： ・ 区 間 ：
	② 仮設ヤードの指定 （ あり 予定 ） ・ 場 所 ：町道大坂下線脇 ・ 期 間 ：
	3. そ の 他
3 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） （ なし ） ・ 施 工 方 法 ： ・ 作 業 時 間 ：
	2. 家屋等の調査の必要性 （ なし ） ・ 方 法 ： ・ 範 囲 ：
	3. そ の 他

明 示 項 目	施 工 条 件
④ 安 全 対 策 関 係	①. 交通安全施設等の指定 （ あり ） ・ 交 通 誘 導 員 ：24人計上 ・ その他施設等：
	2. 近接作業制限（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） （ なし ） ・ 内 容： ・ 工 法 制 限： ・ 作 業 時 間 制 限：
	3. 発破作業 （ なし ） ・ 保安設備及び保安要員： ・ 防 護 工： ・ 作 業 時 間 制 限：
	4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） ・ 内 容：
	5. そ の 他
5 工 事 用 道 路 関 係	1. 一般道路を搬入路としての使用制限 （ なし ） ・ 搬 入 経 路： ・ 期 間： ・ 使 用 後 の 処 置：
	2. 一般道路の占用 （ なし ） ・ 期 間： ・ 規 制 条 件： ・ 時 間 制 限：
	3. 仮設道路設置 （ なし ） ・ 工法指定の有無： ・ 用 地 関 係： ・ 安 全 施 設： ・ 工事完了後の「存置」または「撤去」：
	4. そ の 他
6 仮 設 備 関 係	1. 仮設備の指定 （ なし ）
	2. 仮設備の条件指定 （ なし ）

明 示 項 目	施 工 条 件
6 仮 設 備 関 係	3. 仮設構造物の転用、兼用 （ なし ） ・ 工 種： ・ 内 容：
	4. イメージアップ （ なし ） ・ 内 容：
	5. そ の 他
7 残 土 ・ 産 業 廃 棄 物 関 係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり 発生する建設残土は指定する処分場へ搬出すること
8 工 事 支 障 物 件 等	1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） （ なし ） ・ 内 容： ・ 移設、撤去、防護方法等： ・ 時 期：
	2. 占用物件重複施工 （ なし ） ・ 内 容：
	3. そ の 他
9 排 水 工 （濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策 （ なし ） ・ 内 容：
10 薬 液 注 入 関 係	1. 薬液注入工法 （ なし ） 別紙条件明示による
⑪ そ の 他	1. 現場発生材 （ なし ） ・ 品 名： ・ 納 入 場 所：
	2. 支給品及び貸与品 （ なし ） ・ 品 名： ・ 引 渡 場 所：
	3. 品質証明の必要 （ なし ） 標準仕様書第1編（章）1－1－25による
	④ その他 運搬通路の道路幅員が狭いため、地元区長等と連絡、調整等を行うこと。

明 示 項 目	施 工 条 件				
⑫ 排 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械 及 び 低 騒 音 建 設 機 械	1. 排出ガス対策型建設機械 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 <table border="1" data-bbox="448 568 2004 1058"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 568 1556 603">機 種</th><th data-bbox="1556 568 2004 603">備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 603 1556 1058"> 一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン </td><td data-bbox="1556 603 2004 1058"> ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。 </td></tr> </tbody> </table> 2. 低騒音建設機械 本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用が原則となる場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、請負者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
⑬ 施 工 方 法 等	・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）				

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称		
工事場所／施設所在地		
連絡先		
受入時間		
受入費用		
仮置場所の有無		
備考		

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	コンクリート殻	鉄筋コンクリート殻	アスファルト殻	
処理施設名称			(有)斎藤砂利	
施設所在地			五泉市大蔵字廣瀬島1715番地1	
連絡先			0250-47-2339	
受入時間			—	
受入費用			設計に計上	
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和7年4月) 特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日(現場閉所)に取り組む旨を協議した上で工事を実施する「週休2日適用工事(現場閉所)」受注者希望方式の対象案件である。なお、通期の週休2日(現場閉所)について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

通期の4週8休以上(現場閉所率28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態)を前提に、補正対象経費に通期の週休2日補正係数を乗じて予定価格を作成している。

受注者は、「「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和6年10月)実施要領」に基づき、月単位の週休2日(現場閉所)の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員と打合せ簿により協議するものとする。

現場閉所の達成状況より、月単位を希望して月単位の4週8休以上を達成した場合は、月単位の週休2日補正係数に設計変更する。月単位を希望して月単位の4週8休に満たない場合、月単位を希望せずに月単位の4週8休以上を達成した場合は、通期の週休2日補正係数のままとする。通期の4週8休に満たない場合は、補正分を減額変更するものとする。

(参考)

県要領の電子データは、新潟県ホームページから入手できるので参考とすること。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html>)

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適性かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第1条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

総括情報表

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 25 津川① 0-07. 08. 20 (0) 1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休 2 日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	07 舗装工事 05 一般交通影響有(2)-1 00 なし 40 4 0 % 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 14 通期(現場閉所)R6. 10 00 なし(R02. 10. 20～) 01 生アス補正有り	

工事番号

工事名

商号又は名称・代表者名

住所

内容について説明できる者の氏名

その者の電話番号

※本ファイルを工事費内訳書として提出する場合、左の欄も忘れずに入力してください。

※※ 本工事費 ※※ 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
※※ 本工事費 ※※									X1000	
道路維持									Y1000000017	
構造物撤去工				式					Y2000000171	
舗装版取壊し工				式					Y3000001087	
舗装版切断				式					Y4000020933	
舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下				一式					SCB430510	
舗装版切断									0 省略	
舗装版破碎		30		m					施工 第0-0001号内訳表	
舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:5cm				一式					Y4000020934	
舗装版破碎積込(小規模土工)									SCB210720	
舗装版破碎積込(小規模土工)									0 省略	
運搬処理工		700		m2					施工 第0-0002号内訳表	
				式					Y3000001097	

殻運搬	殻種別:アスファルト殻				Y4000020957
			一式		
AS殻運搬 ～ストックヤード					SCB227010
0 省略	35	m3			施工 第0-0003号内訳表
AS殻積込(ストックヤード)					SCB210020
0 省略	35	m3			施工 第0-0004号内訳表
AS殻運搬 ～五泉市大蔵					SCB227010
0 省略	35	m3			施工 第0-0005号内訳表
殻処分	殻種別:アスファルト殻				Y4000020958
			一式		
AS処分費(t) (有) 斎藤砂利					SWB020052
0 省略	82	t			施工 第0-0006号内訳表
舗装					Y1000000018
			式		
舗装工					Y2000000175
			式		
舗装準備工					Y3000001126
			式		
不陸整正	補足材:有り, 補足材種類・規格:粒度調整碎石 M-25, 補足材整正厚:21mm以上25mm未満				Y4000021062
0 省略		一式			
不陸整正					SCB410010
0 省略	700	m2			施工 第0-0007号内訳表
アスファルト舗装工					Y3000001128
			式		
表層(車・路)	材料種類:⑨密粒度アスコン(13F), 舗装厚:40mm 平均幅員:3.0m超				Y4000021072
		一式			
表層(車道・路肩部)					SCB410260
0 省略	700	m2			施工 第0-0008号内訳表

区画線工					Y2000000181
			式		
区画線工					Y3000001156
			式		
区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格仕様区分: 実線15cm				Y4000004834
			一式		
	区画線設置(停止線)				SWB821210
	0 省略	6	m		施工 第0-0009号内訳表
	区画線設置(止まれ)				SWB821210
	0 省略	37	m		施工 第0-0010号内訳表
仮設工					Y2000000185
			式		
交通管理工					Y3000003659
			式		
交通誘導警備員					Y4000026529
			一式		
	交通誘導警備員B				SWB010212
	0 省略	24	人日		施工 第0-0011号内訳表
直接工事費					
共通仮設費(率分)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費(率分)					

現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

AS処分費 (t)
(有) 斎藤砂利

SWB020052 施 工 内 訳 表

07年08月20日適用
施工 第0-0006号内訳表
100 t 当り
備考・管理費区分

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
処分費	100.000	t			TFJA0604343 T 処分費等
計	100	t			
小計	1	t			

区画線設置(停止線)

SWB821210 施 工 内 訳 表

07年08月20日適用
施工 第0-0009号内訳表
1000 m 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
区画線設置(熔融式)昼間 豪雪有実線30cm制約無	1,000.000	m			TQJ1036019 2 0 省略
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	1,130.000	kg			TZJ4350001 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	50.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
接着用プライマー 区画線用	50.000	kg			TZJ4354001 1 0 省略
軽油	65.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=1	熔融式手動			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=3	実線 30cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
塗布厚	=1	1.5mm			
排水性舗装に施工する場合の補正	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
熔融式塗料規格	=1	含有量15~18%			
塗料区分	=1	白			
プライマー規格	=1	アスファルト舗装			
費用の内訳	=1	全ての費用			

区画線設置(止まれ)

SWB821210 施 工 内 訳 表

07年08月20日適用
施工 第0-0010号内訳表
1000 m 当り

名称・規格など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	・	管	理	費	区	分
区画線設置(熔融式)昼間 豪雪有矢印・記号・文字制約無	1,200.000		m						TQJ1036076	2						
										0		省略				
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	684.000		kg						TZJ4350001	1						
										0		省略				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	30.000		kg						TZJ4352001	1						
										0		省略				
接着用プライマー 区画線用	30.000		kg						TZJ4354001	1						
										0		省略				
軽油	120.000		l						TZJ6702002	1						
										0		省略				
諸雑費(率+まるめ)			%						#71							
										0		省略				
計	1,000		m													
小計	1		m													
夜間作業の有無	=1		無し													
施工方法区分	=1		熔融式手動													
豪雪補正の有無	=2		有り													
規格・仕様区分	=13		矢印・記号・文字 15cm換算													
時間的制約の有無	=1		無し													
塗布厚	=1		1.5mm													
排水性舗装に施工する場合の補正	=1		無し													
未供用区間の場合の補正	=1		無し													
熔融式塗料規格	=1		含有量15~18%													
塗料区分	=1		白													
プライマー規格	=1		アスファルト舗装													
費用の内訳	=1		全ての費用													

交通誘導警備員B

SWB010212 施 工 内 訳 表

07年08月20日適用
施工 第0-0011号内訳表
1 人日 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
交通誘導警備員B		人			RR0804 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	人日			

SCB430510

施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表

機械構成比：15.42% 労務構成比：57.13% 材料構成比：27.45% 市場単価構成比：0.00%

1m 当り

標準単価：673.26

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t'	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	10.49%	円/供用日	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		MMJ1161013 MM091161013
R1t'	特殊作業員	19.60%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R2t'	土木一般世話役	10.55%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R3t'	普通作業員	8.73%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
Z1t'	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ	23.29%	円/枚	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		TZJ6540009 TZ096540009
Z2t'	ガソリン レギュラー	2.83%	円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
	積算単価			積算単価		EP001
	舗装版種別 アスファルト舗装版厚 費用の内訳	=1 =1 =1	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r}$					

舗装版切断

単価適用日/適用基準日 07年08月20日適用

SCB430510 施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表
1 m 当り

機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 673.26

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
[全体調整]	100 - Kr - Rr - Zr + $\frac{\quad}{100}$					

SCB210720

施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

機械構成比：20.80% 労務構成比：71.28% 材料構成比：7.92% 市場単価構成比：0.00%

1m2 当り

標準単価：1,690.8

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t'	小型バックホ(クローラ)〔標準〕 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	20.80%	円／供用日	小型バックホ(クローラ)〔標準〕 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3		MMJ0201034 MM090201034
R1t'	運転手(特殊)	71.28%		運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
Z1t'	軽油	7.92%	円／L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \}$					

AS殻運搬
～ストックヤード

単価適用日/適用基準日 07年08月20日適用

SCB227010

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表

機械構成比： 18.57% 労務構成比： 72.35% 材料構成比： 9.08% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り 2, 012.7

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	18.57%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010010 MPM93010010
R1t	運転手(一般)	72.35%	円/人	運転手 (一般)		RR0115 RR9115
Z1t	軽油	9.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	殻発生作業	=3	舗装版破碎			
	積込工法区分	=4	機械積込(小規模土工)			
	DID区間の有無	=1	無し			
	運搬距離(km) (DID区間無)	=2	1.0km以下			
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \{ [\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t}] \times \frac{Kr}{Rr}$					
	[労務補正] $+ [\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t}] \times \frac{R1r}{Zr}$					
	[材料補正] $+ [\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t}] \times \frac{Z1r}{Zr}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

SCB210020

施工内訳表

施工第0-0004号内訳表

機械構成比：43.43% 労務構成比：37.88% 材料構成比：18.69% 市場単価構成比：0.00%

1m3 当り

標準単価：281.51

代表機労材規格		構成比	単価(津川①)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'	バックホ(クローラ型)[標準型] 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3	43.43%	円/供用日	バックホ(クローラ型)[標準型] 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3		MMJ0202142 MM090202142
R1t'	運転手(特殊)	37.88%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
Z1t'	軽油	18.69%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	土質 作業内容	=2 =1	岩塊・玉石 土量50,000m3未満			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

AS殻運搬
～五泉市大蔵

単価適用日/適用基準日 07年08月20日適用

SCB227010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表
1 m3 当り

機械構成比： 44.95% 労務構成比： 38.97% 材料構成比： 16.08% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 7, 024

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	44.95%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010050 MPM93010050
R1t	運転手(一般)	38.97%	円/人	運転手 (一般)		RR0115 RR9115
Z1t	軽油	16.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	殻発生作業	=3	舗装版破碎			
	積込工法区分	=3	機械(騒音対策不要、厚15cm以下)			
	DID区間の有無	=1	無し			
	運搬距離(km)(DID区間無)	=7	60.0km以下			
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \{ [\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{R1t'}] \times \frac{Kr}{Rr}$					
	[労務補正] $+ [\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{Z1t'}] \times \frac{R1r}{Zr}$					
	[材料補正] $+ [\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{R1t'}] \times \frac{Z1r}{Rr}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

SCB410010

施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号内訳表

機械構成比：18.04% 労務構成比：53.74% 材料構成比：28.22% 市場単価構成比：0.00%

1m2 当り

標準単価：159.55

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	モータグレーダ〔土工用・排ガス対策型(第2次)〕 ブレード幅3.1m		8.81%	円／供用日	モータグレーダ〔土工用・排ガス対策型(第2次)〕 ブレード幅3.1m		MMJ0701015 MM090701015
K2t	ロードローラ〔マカダム・排ガス対策型(第2次)〕 運転質量10t 締固め幅2.1m		6.97%	円／供用日	ロードローラ〔マカダム・排ガス対策型(第2次)〕 運転質量10t 締固め幅2.1m		MMJ0801009 MM090801009
K3t	タイヤローラ〔普通型〕 運転質量8～20t		2.26%	円／日	タイヤローラ〔普通型〕 運転質量8～20t		TLC1060003 TL091060003
R1t	運転手(特殊)		34.41%	円／人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
R2t	特殊作業員		10.04%	円／人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R3t	普通作業員		7.48%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
R4t	土木一般世話役		1.81%	円／人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	粒度調整碎石 25mm		21.96%	円／m3	再生クラッシャーラン RC-40		TZJ2124002 TZ092122003
Z2t	軽油		6.26%	円／L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価				積算単価		EP001
	補足材料の有無	=2	有り				
	補足材料平均厚さ	=7	21mm以上25mm未満				
	補足材料	=11	粒度調整碎石 M-25				
	費用の内訳	=1	全ての費用				

SCB410010

施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号内訳表

機械構成比：18.04% 労務構成比：53.74% 材料構成比：28.22% 市場単価構成比：0.00%

1m2 当り

標準単価：159.55

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
【補正式】 P' = P							
[機械補正]							
$\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right.$							
[労務補正]							
$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$							
[材料補正]							
$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r}$							
[全体調整]							
$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \}$							

SCB410260

施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表

機械構成比：1.35% 労務構成比：9.47% 材料構成比：89.18% 市場単価構成比：0.00%

1m2 当り

標準単価：1,836

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅2.3~6.0m	0.87%	円/日	アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅2.3~6.0m		TLC1210002 TL091210002
K2t	タイヤローラ[普通型] 運転質量8~20t	0.13%	円/日	タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20 t		TLC1060003 TL091060003
K3t	ロードローラ[マカダム] 運転質量10~12t	0.13%	円/日	ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12 t		TLC1050002 TL091050002
R1t	普通作業員	3.39%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	運転手(特殊)	1.94%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
R3t	特殊作業員	1.89%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R4t	土木一般世話役	0.67%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	⑨密粒度アスコン(13F)	81.56%	円/式	アスファルト混合物 密粒度(20) 平均仕上り厚50mm		TZJ4100006 TZP91000030
Z2t	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.06%	円/L	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TZJ4130002 TZ094130002
Z3t	軽油	0.47%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	平均幅員 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) 材料	=4 =40 =4	3.0m超 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) ⑨密粒度アスコン(13F)			

SCB410260

施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表

機械構成比：1.35% 労務構成比：9.47% 材料構成比：89.18% 市場単価構成比：0.00%

1m2 当り

標準単価：1,836

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
瀝青材料種類 費用の内訳		=2 =1	プライムコート PK-3 全ての費用			
【補正式】 P' = P						
[機械補正]			$\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right.$			
[労務補正]			$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$			
[材料補正]			$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r}$			
[全体調整]			$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$			

単価入力データ一覧表②

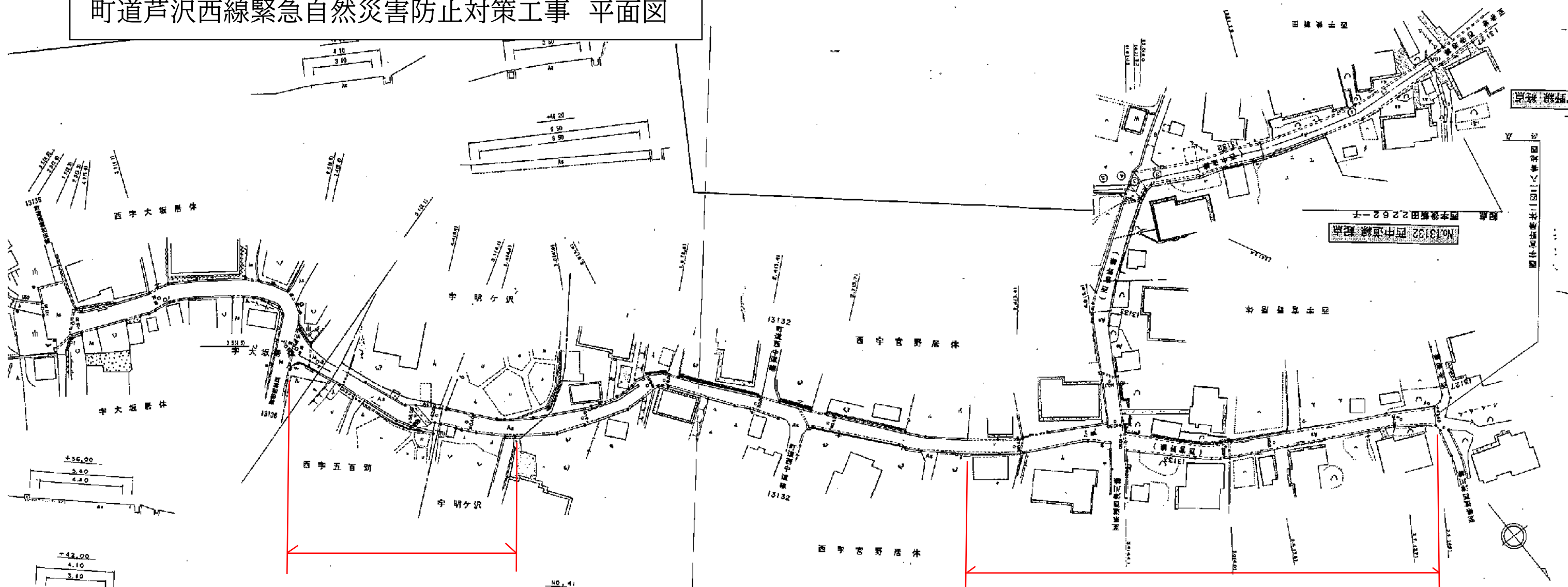
上 位 コード	上 位 名 称	第 番 号	単 価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単 位	金 額
SWB020052	AS処分費 (t)	第0-0006号	TFJA0604343	処分費	t	

町道芦沢西線緊急自然災害防止対策工事

町道芦沢西線 施工位置図



町道芦沢西線緊急自然災害防止対策工事 平面図



L=70m 不陸整正 舗装打換 ⑨密粒13f t=40
W4.0×70m=280m²

L=120m 不陸整正 舗装打換 舗装⑨密粒13f t=40
W3.5×120=420m²

標準断面図

幅員 3~6m

不陸整正
舗装打換 ⑨密粒13F t=40